

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (97), 課コード (0103), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, 30, and 31.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	1370	課コード	0103	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	------	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	男女共同参画プラン進行管理業務	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	総務部・秘書広報課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ●全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	2人 (換算人数)	0.3人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	2,255千円	当該(開始)年度	(当初) 4,833千円 (うち人件費 2,640千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	42001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)	男女共同参画プラン (第2次)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	固定的な性別役割分担の意識や社会慣行の解消を促し、職場や地域、学校、家庭など社会のあらゆる分野で男女が平等に参画できるよう、事業者・自治会などへの働きかけや講演会・講座の開催、情報紙の発行などの啓発活動を充実します。			事業目的	男女共同参画社会を実現するために、「我孫子市男女共同参画プラン(第2次)」に基づいて、実施計画を策定し、事業を進行管理し、全庁的な組織である推進本部と市民や関係団体や学識経験者らをメンバーとする審議会を運営する。					
(3) 事業内容	内容	○ 男女共同参画プラン推進本部において「我孫子市男女共同参画プラン(第2次)」の実施計画計上事業の進行管理を行う。幹事会を開催し、推進本部の会議に付する事業の検討及び調整を行う。 ○ 男女共同参画審議会を開催し、市の方針に対する幅広い意見や専門的意見を聴く。 ○ 平成30年度に第三次男女共同参画プランを策定するための市民意識調査を行う。			当該年度執行計画	○プラン進行管理 ・4月～5月：プラン実施計画計上事業実績把握(庁内調査)・7月：幹事会の開催・8月：審議会開催 ・10月：推進本部会議開催・11月：実施計画計上事業実績報告の公表(ホームページ) ○プラン策定(市民意識調査) ・5月～6月：事業者と調査内容について協議・7月調査実施及び回収 ・8月～9月：調査結果の取りまとめ					
		当該年度活動結果指標				実施計画計上事業数	単位	件	想定値	84	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	男女共同参画プラン(第2次)に位置付けられた施策を確実に実施する				直接	男女共同参画実施計画計上事業の実施率		%	0	100	
3年後	男女共同参画プラン(第2次)に位置付けられた施策を確実に実施する				直接	男女共同参画実施計画計上事業の実施率		%	0	100	
最終(概ね5年後)	男女共同参画プラン(第2次)に位置付けられた施策を確実に実施する				直接	男女共同参画実施計画計上事業の実施率		%	0	100	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)
		男女共同参画推進員(嘱託職員)人件費	1,577	男女共同参画審議会委員報酬	35	男女共同参画審議会委員報酬	105		男女共同参画審議会委員報酬	35	
		消耗品	75	普通旅費	3	普通旅費	3		普通旅費	3	
		旅費	8	研修旅費	3	研修旅費	3		研修旅費	3	
				* 第三次プラン策定市民意識調査委託	952		印刷製本費	500			
				男女共同参画業務を行う2号嘱託職員	2,000千円×0.6人	1,200	男女共同参画業務を行う2号嘱託職員	2,000千円×0.6人	1,200		
予算(済)額	合計		1,660	合計		2,193	合計		1,811	合計	1,241
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	1,660		2,193		1,811		1,241			
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.3		0.3		0.3		0.3			
	正職員人件費	2,640		2,640		2,640		2,640			
	嘱託職員報酬額	1,578		1,578		1,578		1,578			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	4,300		4,833		4,451		3,881				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	51.19千円/件		57.54千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市男女共同参画条例第10条において、男女共同参画に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、男女共同参画の推進に関する基本的な計画を策定することとしている。本計画に基づき男女共同参画を推進するためには計画の進行管理は必要である。女性活躍推進法(H27)や配偶者からの暴力の防止等に関する法律が施行され、男女共同参画を取り巻く環境や意識も変化している中、市民の意識を把握し、計画に活かすことが必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		男女共同参画審議会の委員に市民を登用している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		<超過理由等>		○要 ○不要
	4,833	△533	<削減の内容>							
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	○要 ○不要
	2.07	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%)		(h/e)×100		○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (1822), 課コード (0103), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.